

作成日 2023年12月  
氏名 浅沼靖子  
所属 代表取締役

## 活動報告書

活動名	ビンコーインターナショナル株式会社2023年活動報告書
活動目的	当社は、途上国の保健医療セクター開発を推進するため、以下の領域において具体的な成果を上げることを目指した。
活動概要	保健医療、教育分野の機材整備計画の策定 医療機器メーカー、施設設計・施工会社、保健医療専門家（医師、看護師、保健師）及び被援助国施主との協力のもと、主に以下の国で保健医療サービス向上に資する活動を実施した。
活動内容	2023年1月末イラン・イスラム共和国テヘラン市医療機材整備計画で、供給業者契約の締結を完了した。 2023年5月パキスタン国ハイバル・パフトゥンハー州洪水被災地及び周辺地域における母子保健機材整備計画準備調査を受注し、概略設計調査を実施した。 2024年6月ソロモン国キルフィ病院整備計画の実施設計業務を開始した。 2023年12月コッパーベルト州における保健センターの郡病院への改善計画（ンドラ郡ムシリ）の機材供給業者契約を締結した。
実施結果	世界情勢が不安定且つ円安など負の要因が顕著にみられたが、受注プロジェクトの約6割を完了した。
課題・改善	以下は、活動評価における主な課題点と改善策です。 ・課題点 業者の調達監理業務を若手コンサルタントのさらなる育成を図る必要がある。 円安による調達コスト値上げにより入札不調などが続いた。 イラン国ア県では不安定な中東情勢や米国の経済制裁強化により、困難な局面が多々あった。 ・改善策 国際協力機構、施主との緊密な連携により案件の推進が図れた。
今後の予定	今後は、技術協力事業の専門家としての活動を増やし、よりコミュニティの人々に近い位置で途上国の保健医療サービス改善に資する案件としたい。
所感	2023年度は、ハイバル・パフトゥンハー州洪水被災地及び周辺地域における母子保健機材整備計画準備調査を新規に受注し、パキスタン国で調査を開始した。

業 務 名	パキスタン国ハイバル・パフトウンハー州 洪水被害にかかる母子保健機材復旧計画準備調査 (QCBS)
国 名	パキスタン・イスラム共和国
発注者名	独立行政法人国際協力機構
発注の種類	元請
契約金額	64,318,488 円
契約期間	2023 年5 月10 日から 2024 年9 月30 日

## 業 務 内 容

### (1)業務の背景

パキスタンは 2022 年の洪水発生以前より母子保健 (MCH) 指標が世界最低水準の国の一つである。KP 州の MCH 指標は、施設分娩率が 61.8%で、パンジャブ州 (68.9%) やシンド州 (71.8%) に比べて低く、熟練した医療従事者の分娩介助も KP 州は 67.4%と全国の 69.3%を下回っていることから、MCH サービスの改善が喫緊の課題となっている。

KP 州において、洪水被害後は、1 次医療施設へのアクセスの低下や、施設や機材の損壊によるサービスの質の低下に伴い、同じ県内あるいは近隣県も含めた 2 次医療施設への患者の集中も起こっている。2 次医療施設においては、特に 1 次レベルでは対応できない症例への対応が重要な役割となり、包括的な緊急産科・新生児ケアを提供する設備・資機材が必要となっている。2 次の上位に位置する 3 次医療施設においても、2 次医療施設の対応能力を上回る来院により溢れた患者が 3 次を受診せざるを得ない状況となり、対応すべき分娩数や帝王切開数が増加、設備・機材が不足する状態となっている。

### (2)業務の内容

- ・調査対象施設: KP 州ハザラ地区 (トルガー県を除く 7 県:ハリプール県、アボタバード県、マンセラ県、バタグラム県、コライパラス県、南コヒスタン県と北コヒスタン県) にある医療施設
- ・整備対象機材: 母子保健サービス提供に必須な医療機材、付帯設備 (ソーラーパネル、無停電電源装置、自動電圧調整器など)

### (3)本件の成果品

以下の成果品の作成業務を行った。

- ・現地調査結果概要: 現地調査の結果導き出された協力の方向性 (整備計画機材とその数量) について記載した報告書。
- ・準備調査報告書 (案): 現地の概況、設計方針に基づく整備計画機材の内容、設置が必要な機材の設置図など、協力コンポーネントについて相手国への説明のために作成された報告書。
- ・準備調査報告書: 相手国からの準備調査報告書 (案) へのコメントを反映させた最終報告書。

